新彫

庚申講

三

1709
3

へ 13
1702
3

帝国図書館蔵

新撰庚申待三

目次

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

彩形庚申縁之

木かくれ蓬ゝ接

福ハ内鬼ハ外とやらんる句孫の笑ひや

えめぐらしの八房ち人でもそれハ接地の

抱て初る抱ゝやはげゝ海ゝ旨ゝ抱ゝ出てよ迷

ゝ笑ゝい接地ゝ笑て底てゝ君ハ仮の妻

四ゝぐなぐつさゝつ抱て寝ゝ示ゝ我かの

接地えの年ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝの女

房ゝや圧ゝぶ十五ゝかゝ面ゝつくゝゝ

しほてくらいとつたも八藤八びつそうしま
かゝ幸やあの月のくまれば加福ぐ二世も
こ世もかゝぬ幸と夫かゝ和ともふもつ
そうぢい女とりつ碓ふ湯ふ耳そて八藤さん
の亜く嫁ぎ木とそふ外て和がのれば長郎巾
拡後しそ山宮ゆりの作るぎを入る八藤も式
こ宝れば三ろ元のし一和せぎ郷へこ
斗ふせ三ゝ女斗ふせ三ゝおつちふそへで
おつちハきつふ和ちゃくそのでこ斗でふ

しいゝハ藤ふでハかひとふバイエ一えのハ
ぢぐさんぐらぢんぐらんぐふん
餅ハ餅屋
二三人づまで俳諧ちうよ連ゝ出来作ら
ゆ俳諧同者して和こ和ハ湯ゝの兄さ
ま遠浦ゝりこ蔵ふ毎ゝをやり
かげるふ中で一人ゆんゆいるばふ舟ゝを
けまバ中ゆこんゆなぼうとゝいま和ハこん
ここゝこゝこの一ゝもおぐりゃせんゝいバゆ

そこでいのそ仏和〳〵ふ仏ちうとい〳〵ださあ〳〵
なし〳〵ば足角力でもうませうそこいつ〳〵だ
見ハ意ずかうつてしんこ新しく足角力と
まどいつもこれ申ぬと云いこの足角力とい
るさるまづじやさんとけませあいうこいあ
なこの正倉弱気い仏でけりまと図びえわく
そこのよハイ捕の梅屋でけりま

清きまづ

田舎の人大坂まそまるをひろい拾うつま

色〳〵評判しけもどる初こうち拾ちへ
なし〳〵社屋原こうこれ拾ちへ
屋ばの山ちへばされどもさてげよ村のく
たらもちる移あつくちへくこ元業して
奥の方く行おをあまとかへ出ろへ
くこみへ考出〳〵ちまこそ〳〵ハ
むかしの神の宝やしい〳〵ばうこまこそ
どもい白るの卵うと拾ちへ

関る小町

おさよさんおさんの死をうけて隠さんが
つくづくとさるやうわのあのあかぶ髪あるく
世界の男はみれふるんつくであるるおの
凡さんは大てい死の原おくるやいぎへ
あのさるやうでもを坊さんをうんをあろ
してぎあるさるんをんなす丙午の
くかのるくたきのこどや
迷ちぎ山
鳥子居をでさけがしの負債海流

ぎくるは乗絵しつ　ちを見や特異人
さるの美たいくも鳥よおろ大き梵
くぬの浄るわ年十年おくまとも
かなくぶくく死生の山ぎるる珠教えん
で面をあぶくく鳥よ仏の井の川
ぎくで結ていくぶさんせくぎるびつ
くくそくかなくぎで結て下さるまる
貴はちろ
ちるや生や四界陽也男もる

なに火を打つけるよふにいふ　あのおつさんが
ほ火を打つけるとやうになるぞへ　ある丈の分
ちよくさこす拗(しめで)すをなんでもさよならむ
さのすのなおさましさのじやさんの
内(うち)すこの旦那(だんな)さんハなをきれいむこさじや
もつてといへバ支(まま)じやおかみさんと旦那
さんこの枕(まくら)もしか毎晩(まいばん)大切(たいせつ)がある(ある)して
ちやうど三
旦那毎(やく)宅(やしき)へ丁稚(でつち)をつれて通(かよ)ひなさる様(ざ)

おく(いしき)遊(あそ)りあつまとさとにハさとさん立(さつさつ)なく
出(で)さくの外へおそまで持出(もちだ)る下女(げじよ)ハちよろへ
長吉どん太義(たいぎ)しハちよとの火をへるの
旦那さんの佐よへまざし　私(わたし)がされぬ
くちくへまくさてつへあうとふ候(さう)
釜(かま)の下の火おこさうとふ二三ぞつひつさく
ね入りまバさまハ家内(かない)と長屋(ながや)其(その)候(さう)さ
引こそ是(これ)ハあぶなカ火(ひ)じやさるもやそ
なそりおもしんぞく

[illegible]やうきのけいこや七八人の事[illegible]加[illegible]
[illegible]仕[illegible]ぐ[illegible]かるる
[illegible]ふ三猪の六月たくさん[illegible]原[illegible]
[illegible]て大[illegible]を出[illegible]
[illegible]れ[illegible]ろなつぞよ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]べむ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]人[illegible]
[illegible]

[illegible]ぬ
[illegible]る
[illegible]人[illegible]坂[illegible]のぼり[illegible]天[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

方でもこんくらしゝ　なさまと　近付きて　玉をび
たさきしこゝ　で西谷　人　ゆて　きこゝ　ハ　ち
玉ハ　さゝ　ふ　で　ざ　ぶ　と　ゝ　よ　ち　ま　い　や　門　白　玉
くさのうじゃ　ふ　ち　ぬ　ら　ん　ち　ゝ　た　さ　ち　ぶ　く
といよの　四　ゝ　ゝ　の　小　が　ま　ま　ち　と　新　を　て
ま　ん　い　今　魚　を　ぶ　ぶ　さ　ち　ま　ハ　で　ぶ　ぶ　ぬ　ち　や
新　ち　ぶ　か　ゝ　ち　ぶ
茶　谷　の　子　あ　ち　ぶ　谷　の　子　手　ち　谷　の　子　八　百　や　の
子　正　月　よ　ち　ま　ち　ま　ち　ま　ち　ま　ち　ま　ち　ま　ち　ま　ち　茶

谷の子ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
手あ谷の子　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ふ　つ　ぶ　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
子　ハ　ち　ち　ふ　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち

[illegible]めくるの基ふ坪く仙きも之合て
[illegible]を宮[illegible]よかろかく則天竺乃
日市よおくく拳まを八万日のかろう
ゞも者集くくのみやくくて免まくよ
かくさくく中みもゆくくと為ゆ
この方一をつまて出物仙ゆもゆく
かゞ山降とうくあく稜で大うくよ
[illegible]仙とんゞ[illegible]ゞさのれよ仙て
一曲させ[illegible]天ハ一無うあくかぼ

[illegible]ゞくくと女一三上う天宮初曲
大[illegible]ゞくくと[illegible]沢よ稲まの曲
五月神くうどかりくゞくの[illegible]
作あくハ布くらくやくくく拍
子どう和仙を[illegible]くくられバ[illegible]
大よ奥をうくよほくくまくまう
くくれまやゞうくくハくられぬゞや
今仏会間採てくゞ麓まハ会くくくく律女神くくく毛

四月堅田を流れ出で給ふの俤養子風呂
そこそこ長野やをふれ出れば立ち立ての時分
ものあはれなる事ども一と筆一と
入人結かけみる女房そこ沢一中だぬ
ぬ次よお今るさまこハイーさまあ〜ぐ糸ものお
ハ今ま〜詰こるもなく美花ぬぎさあは入
みされませさまよなまを〜なまやせ
〜ぐぐぶ〜〜さつられば門あるふご
ぐりこをあらふ〜ぐちる入かげんぐ

今りも〜そこそこをつろくやれあるぐや
〜あをあ〜ぐぐろ

式々つるぎ

遠国ぐこの武今家の十日戎よまろおさ
ぐまりの高人和かとんを出ぶいそぐごい
へバぐ〜ふとてもきのどわ何じやをを
とあなどろてまるのあるいものをを
じやこハびやくらいなるなるとて刀は物
まをかれば南へおどろきやりしで日ハ

ぬのを買まを日でも買人でも
まゝのものいまゝ
ひとつ宝物をうるとて値段
一統を日の高のいなゝゝゝでぞう
まゝいつまけまゝれがやゝゝ納ゆゝて
高くべて買ゝゝ宝物をゝゝのくて
まゝより清水祐く多う紙を紙をつゝ
うる表は十二文
あるうおれの

表兵今夜の祇園ぞおまゝゝて
南禅寺ゝ行やしぐなるまんの仏のゆ
るゝいせんでもよいとひまゝちゝ来一年
やゝておけやゝ

東京都立中央図書館 加賀文庫